

今月の寺ともさん 飯田町 竹本建設社長 竹本整二さん



今月の寺ともさんは、飯田町の竹本建設社長である竹本整二さんです。竹本さんは、先代お父様の跡を継いだ二代目です。先代さんの当初は、家屋などの建築を手がけられていたのですが、約30年前から土木に転身しました。道路や河川などの公共工事をはじめ、民間の仕事では田んぼの造成など、様々に取り組まれています。中でも特にこの度紹介したかったのが、高松市からの要請で高松市建設業協会から委託された台風や高潮などの災害時における「土のう作製場所」開設のお仕事です。



高松市には、海沿いや川沿いそして山沿いを中心に約20カ所の「土のう作製場所」が開設されるのですが、その中の1カ所が左の写真にある徳成寺東隣の番町2丁目公園です。そこの土のう作製担当が竹本建設さんです。先月7日の台風5号の折には、前日と合わせると約200人が訪れ、800個にも及ぶ土のうが持ち帰られました。トータルで砂の量は2トラック5台分にもなったそうです。NHK高松放送局などの放送局が近いせいなのか、各放送局がたいてい作業の様子を取材に来ます。中には「テレビで見たので」と言って、わざわざ遠くから来られる方もいるそうです。これから秋の台風シーズンです。出番がない方がいいとは言え、災害に備える重要な役割を担っておられます。今後も市民の心強い味方として頑張ってください。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：ベルちゃん
性別：♀
お年：15歳
種類：ポインター
好物：ジャーキー
苦手：体格の大きい人
住所：藤本さん宅(高松市)
性格：おとなしい



ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：猟犬として、千葉から飛行機に乗ってやってきたのが、ベルちゃんです。空の旅がこたえたようで、ぐったりしていたのですが、お父さんに介抱してもらい、すっかり元気になりました。遊びに出かけ帰って来なくなったりする程元気になりました。朝晩も散歩に連れだしてもらおうと、うれしくて飛びつきました。そんな優しい飼い主のお父さんが亡くなった時は、すーっと写真を見て座り込んでいました。

***** : 総代さん便り *****

総代の山根です。猛暑が続き思い出すのが戦時中のことです。叔父が広島から出征するのを見送りに行きました。呉港に近くなり海側の列車の窓は、港の様子が機密なので閉ざされます。時間的に会話も少なくなり別れましたが、終戦後何年かして帰って来ました。南太平洋のラバウルに通信隊員として行っていたとの事でした。広島原爆にもラバウル全滅にも無事帰って来た事を喜びました。人間は生かされていると感じました。また昭和20年7月4日未明の高松空襲後の、何もない焼け跡の熱さは今とは比較できない暑さでした。その日の午前2時頃ラジオで「タカマツ・タカマツ」と何度も放送していました。「高松方面注意」とでも言えば早く避難準備できたのではと思いました。目に浮かぶのは栗林公園の北門から高松港の海が見え、女木島が丸見えで、数少ないビルのみ残っている様子です。

